

平成 25 年度第 4 回市立岸和田市民病院地域医療支援委員会 開催結果概要書

1 名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	平成 26 年 3 月 6 日（木）午後 2 時から午後 2 時 50 分まで
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3 階講堂（前）
4 公開・非公開の別	公開
5 出席者	中山委員長、久禮副委員長、小林委員、貝塚谷委員、金本委員、山本委員、宮本委員、槌谷委員、小切委員、吉村委員
6 欠席者	大西委員、野上委員
7 関係職員及び事務局	藤澤副院長、出口副院長、中谷看護局理事、和田医療福祉部参事、加藤地域医療センター看護師長、新井川地域医療センター職員、濱崎医療マネジメント課長、赤井経営管理課長、藤原経営管理課主幹、中川医療マネジメント課医療計画担当長、乾医療マネジメント課医事サービス担当長、道林医療マネジメント課主査
8 傍聴人数	0 名
9 次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 中山委員長挨拶 3. 案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域医療支援病院業務報告について (2) 地域医療連携に関する広報活動について (3) その他 4. その他
<p>【議事概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議冒頭において、事務局の異動について報告を行った。2/25 付けで大原事務局長が副市長（兼市民病院事務局長事務取扱）に選任されたことを報告した。 2. 案件(1)について、地域医療支援病院業務報告（12 月～2 月）の概要について、事務局より資料に基づき説明した。 3. 案件(2)について、今年に入り地域医療連携ニュース特別保存版（LiNK）第 3 号及び第 4 号を発行したこと。また、今後さらに内容を充実させていくことについて、加藤地域医療センター看護師長より説明した。 4. その他案件として、昨年 10 月から再開された婦人科入院診療実績について、出口副院長兼産婦人科部長より資料に基づき説明した。 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 槌谷委員より、昨年市長が交代したが、一般市民においては市民病院の運営及び経営についてどのように行われているのかわかりにくい、市長と院長との間で政策協議等が行われているのかとの質問がなされた。小切院長から、先般、市長には大学関連病院へ同行してもらった。その時々において方針等を理解してもらっていると回答。事務局より、市民病院の今後の経営形態について、市長公約である地方独立法人化を含め、より良い形態を院内で検討するよう指示がなされていることを説明した。 (2) 当院における平成 24 年度の退院患者約 8,500 人のうち、約 7%にあたる約 550 人が慢性期病院へ転院しているが、これら在宅復帰のためのリ・コンディショニングを行う後方支援病院との密な連携を図るために、市内 5・市外 5 の計 10 医療機関の MSW 等の退院調整担当者との会議を 3/17（月）に予定している。 <p style="text-align: right;">以 上</p>	